

“メディアのルール” を決めよう!

メディアは、主に電子映像メディアのテレビ・ビデオ・
テレビゲーム・インターネット(パソコン, ケータイ)です。

日本の子どもはメディア漬けの状態です。
乳児期早期からメディアに長時間接触しています。

メディア接触の早期化・長時間化は、子どものこころや
言葉の発達、生活のリズムなどに影響します。

ケータイやパソコンのインターネットには危険な
落とし穴があり、トラブルが多発しています。

子どもの健やかな成長のために、
メディアとのつきあい方を考えましょう。

1. 2歳まではテレビ・ビデオをできるだけ見せない。
2. 授乳中、食事中のテレビ・ビデオはやめる。
3. メディアにかかわる時間は1日2時間以内に制限し、外遊びや勉強の時間を作る。
テレビゲームは1日30分以内にする。
4. 子ども部屋にはテレビ・パソコンを置かない。
5. インターネットは大人と一緒に使い、
マナーを教える。
子どもに見せたくないサイトへのアクセスを制限する。
6. ケータイを持たせるときのルールをつくる。
使用場所、使用時間、使う目的を決める。
契約のとき、必要な機能だけに制限する。
その後も子どもの使い方を見守る。

